

有珠山

1 概況

火山活動は静穏な状態です。

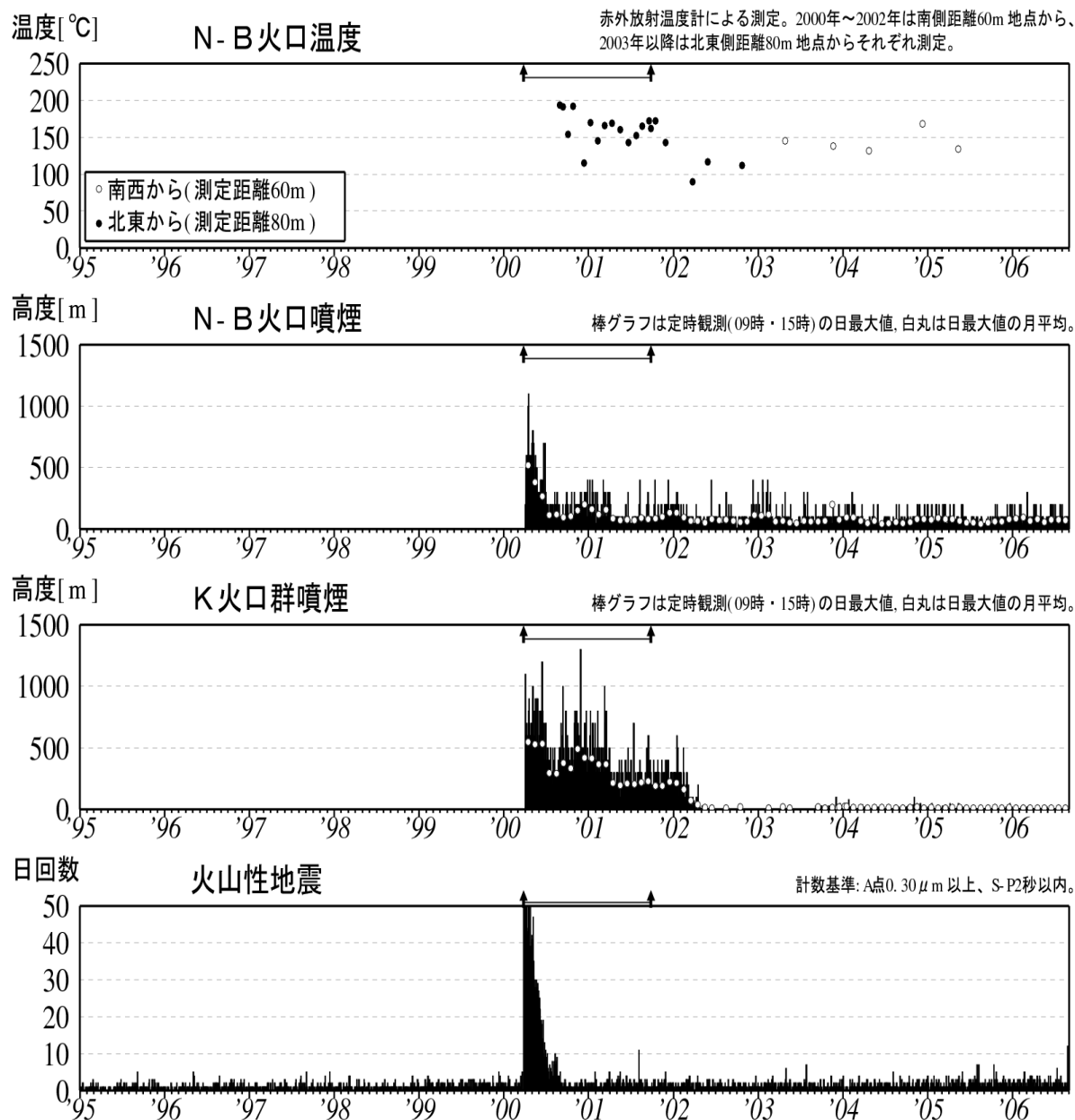


図1 有珠山 最近の火山活動経過図（1995年1月～2006年8月）

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平17総使、第503号)

2 噴煙および火口の状況

西山西麓 (N) 火口群の N-B 火口では、弱い噴気活動が続いており、噴気の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。金比羅山 (K) 火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも弱い噴気活動が続いていますが、特段の変化は認められませんでした。

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 27 日に 12 回と一時的にややまとまって発生したほかは、1 日あたり 0~2 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様に山頂部直下の浅い所 (山頂から深さ 1.5km 付近) に集中していました。

火山性微動は観測されませんでした。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数 (A 点 : 図 2 の USUA)

2005~2006 年	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
地震回数	29	35	29	33	26	34	40	35	29	32	35	34
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

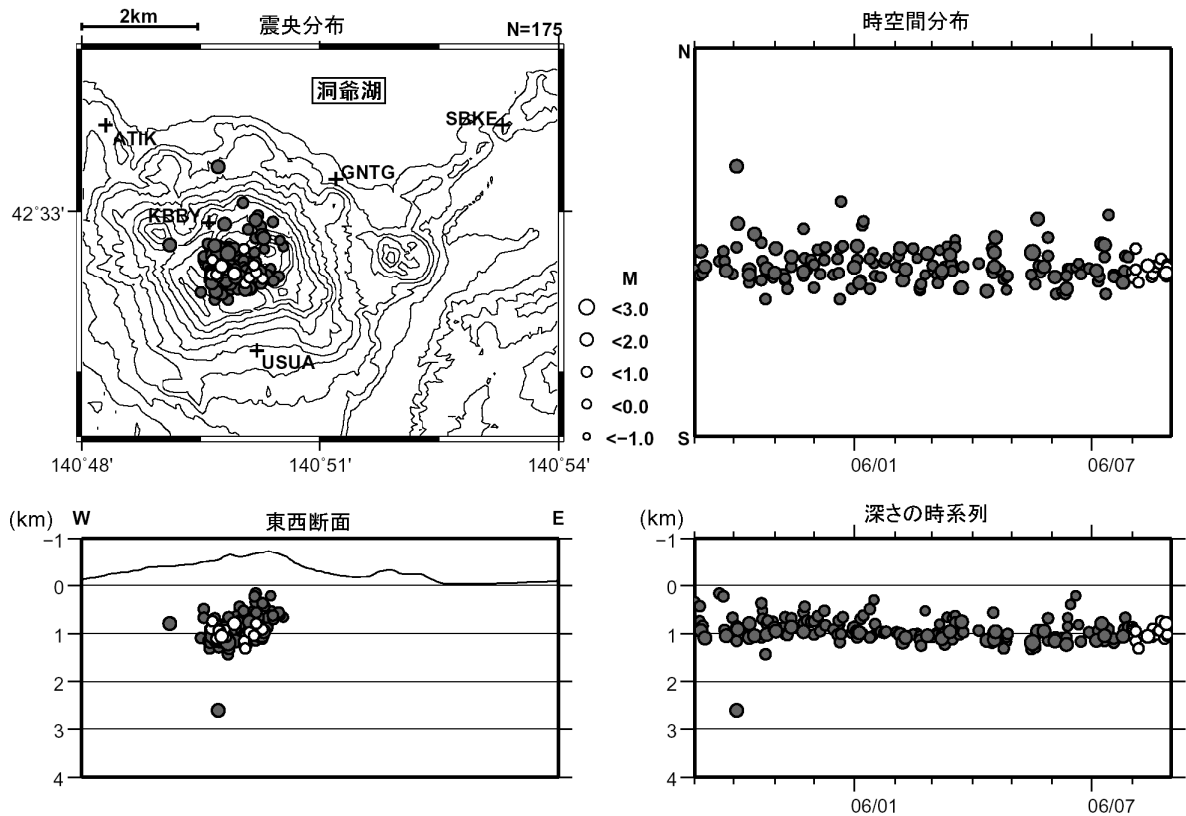


図 2 有珠山の震源分布図 (2005 年 9 月~2006 年 8 月、+は地震観測点)

○印は今期間(2006 年 8 月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 9 月~2006 年 7 月)に求まった震源を示しています。

前期間までの震源は山頂部直下の浅い所 (山頂から深さ 1.5km 付近) に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められません。

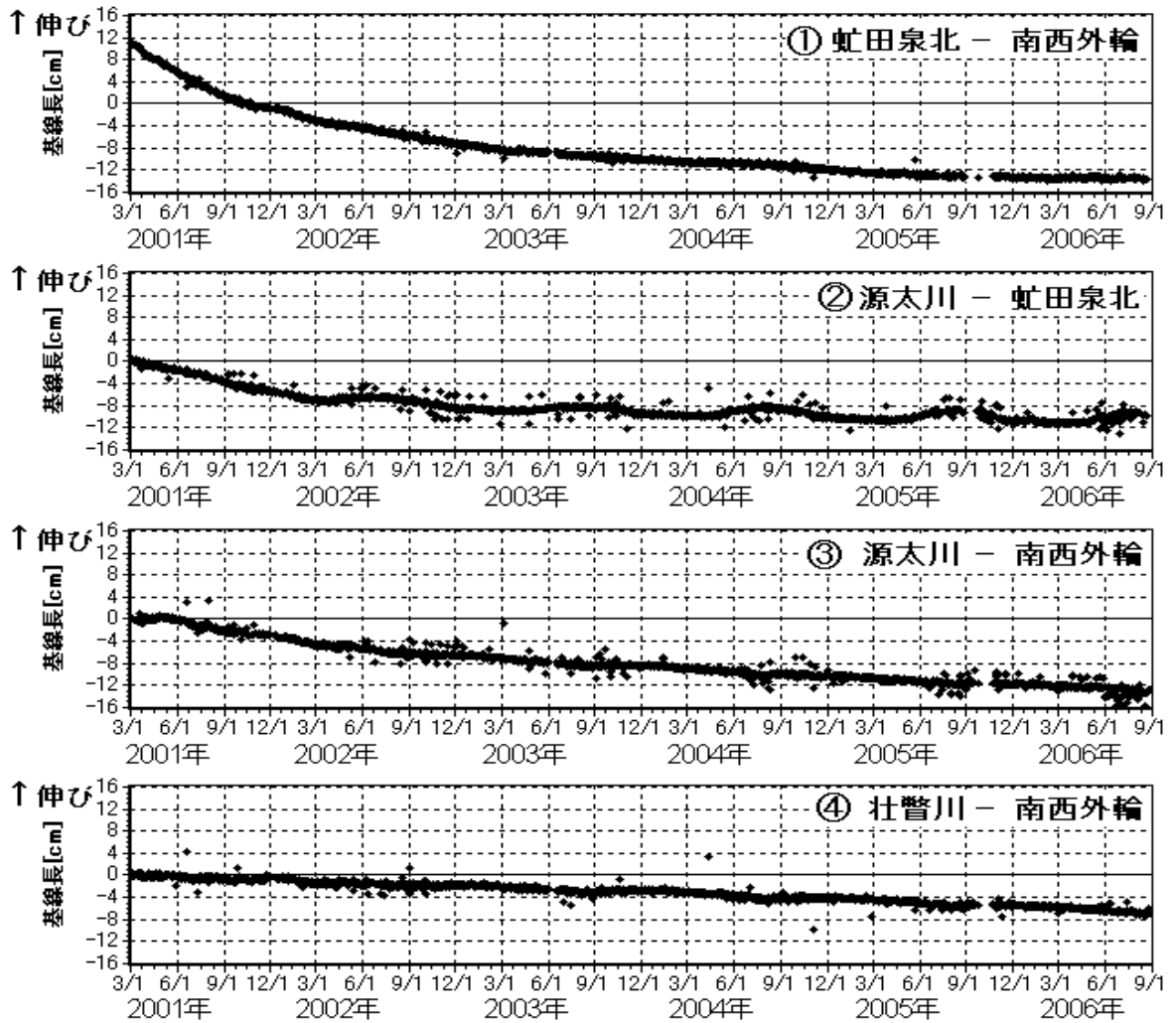


図3 有珠山 基線長変化 (2001年3月～2006年8月) グラフの空白部分は欠測

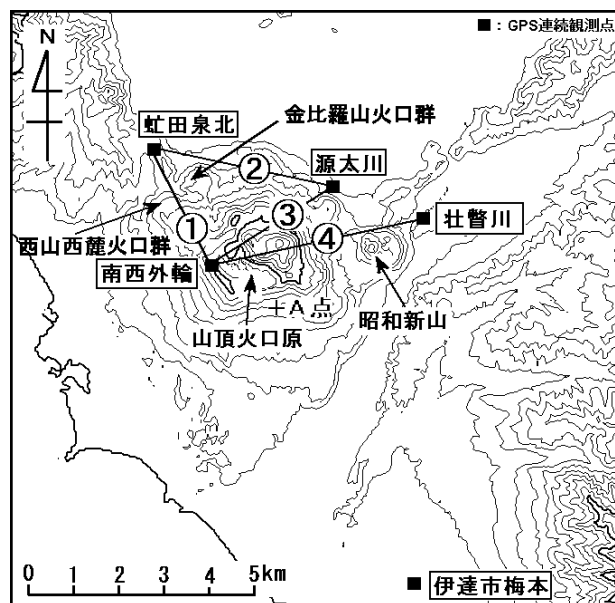


図4 有珠山 GPS 観測点配置図